

23 総合学科の充実

(高等学校)



－ 自己の進路への自覚を深める学習の推進 －

総合学科では、共通科目及び専門科目を幅広く開設し、生徒が自己の興味・関心に基づき主体的に履修科目を選択することにより、将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深める学習、学ぶことの楽しさや成就感を体験できる学習が重要となる。

また、総合学科は、普通科及び専門学科と並ぶ学科として平成6年から導入されたものであり、実施運営上の様々な課題が指摘されていることから、その解決についての実践的研究体制を一層推進する必要がある。

ここがポイント(取組の重点)

- 多様な生徒の実態や希望進路に対応した特色ある教育課程及び指導体制の確立
- ◇ 「教育課程の改善・充実」「キャリアガイダンス体制の充実・強化」「地域・関係機関との連携」に重点

(1) 総合学科の管理システムの整備と運営の充実を図る

- ① 多様な生徒の実態や特性に対応した魅力ある選択科目の設定など、教育課程の改善・充実に努める。
- ② 生徒の履修についてのチェック機能を強化する。
- ③ 総合学科の趣旨、内容、特色など、地域社会や中学校等への広報活動を積極的に行う。
- ④ 総合学科の趣旨に沿った施設・設備の整備・充実に努める。

(2) 多様な進路目的を持った生徒の指導体制の確立を図る

- ① 将来の職業選択を視野にいれたキャリアガイダンス体制の充実・強化を図る。
- ② 進路に応じた科目選択の指導のために「シラバス」を作成し、「科目ガイダンス」を充実・強化する。
- ③ 「産業社会と人間」の指導に当たっては、内容を精選するとともに、勤労や職業に関する実際の体験を通して、生徒が産業社会や職業生活について現実的、具体的に理解できるよう配慮する。
- ④ 企業や上級学校等と連携し、就職希望者・進学希望者の双方を視野に入れた進路指導に努める。

(3) 指導の工夫・研究の推進を図る

- ① 個別学習やグループ活動を活用した授業、特定の学期又は期間における集中的な授業、社会人講師による授業など、指導方法の工夫・改善に努める。
- ② 高等学校間の連携、専修学校や技能審査における学習成果の単位認定の活用等、自校では活用されない分野への学習機会の拡大を推進する。
- ③ 地域や関係機関との連携強化によるインターンシップ等、キャリア教育の指導体制の充実に努める。
- ④ 原則履修科目である「産業社会と人間」を中核として、教育課程全体を通じた教科横断的な視点でのキャリア教育の推進に努める。

■ 関連資料 ■

◎ 『高等学校学習指導要領解説 総則編』

文部科学省 平成30年